

5 年齢別常用求人・求職・就職状況

常用（含パート）

元年5月

	新規求人数		月間有効求人数		新規求職 申込件数	月間有効 求職者数	就職件数	新規求人倍率		有効求人倍率	
	就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等				就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等
	積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式				積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式
年齢計	74,045	74,045	209,314	209,314	30,000	139,292	8,112	2.47	2.47	1.50	1.50
19歳以下	1,040	7,434	3,181	20,852	374	1,839	155	2.78	19.88	1.73	11.34
20～24歳	7,790	8,213	20,354	23,259	2,828	11,785	564	2.75	2.90	1.73	1.97
25～29歳	10,710	8,147	28,677	23,118	3,870	16,609	761	2.77	2.11	1.73	1.39
30～34歳	8,476	7,909	23,840	22,356	3,085	13,999	685	2.75	2.56	1.70	1.60
35～39歳	6,909	7,209	19,725	20,371	2,589	12,055	697	2.67	2.78	1.64	1.69
40～44歳	6,884	6,710	19,523	18,876	2,811	13,024	844	2.45	2.39	1.50	1.45
45～49歳	7,359	6,314	21,589	17,732	3,201	15,521	1,043	2.30	1.97	1.39	1.14
50～54歳	6,724	6,238	19,130	17,510	3,015	14,067	961	2.23	2.07	1.36	1.24
55～59歳	5,413	6,234	16,053	17,496	2,378	11,627	796	2.28	2.62	1.38	1.50
60～64歳	4,706	5,124	14,930	14,684	2,232	11,736	747	2.11	2.30	1.27	1.25
65歳以上	8,034	4,513	22,312	13,060	3,617	17,030	859	2.22	1.25	1.31	0.77

年齢計	74,045	74,045	209,314	209,314	30,000	139,292	8,112	2.47	2.47	1.50	1.50
24歳以下	8,830	15,647	23,535	44,111	3,202	13,624	719	2.76	4.89	1.73	3.24
25～34歳	19,186	16,056	52,517	45,474	6,955	30,608	1,446	2.76	2.31	1.72	1.49
35～44歳	13,793	13,919	39,248	39,247	5,400	25,079	1,541	2.55	2.58	1.56	1.56
45～54歳	14,083	12,552	40,719	35,242	6,216	29,588	2,004	2.27	2.02	1.38	1.19
55歳以上	18,153	15,871	53,295	45,240	8,227	40,393	2,402	2.21	1.93	1.32	1.12

年齢計	74,045	74,045	209,314	209,314	30,000	139,292	8,112	2.47	2.47	1.50	1.50
44歳以下	41,809	45,622	115,300	128,832	15,557	69,311	3,706	2.69	2.93	1.66	1.86
45歳以上	32,236	28,423	94,014	80,482	14,443	69,981	4,406	2.23	1.97	1.34	1.15

（注） 年齢別の求人倍率及び求人数は、次の2つの方法により集計を行っている。

「就職機会積み上げ方式」

個々の求人について、求人数を対象となる年齢階級〔5歳刻みの11階級〕の総月間有効求職者数で除して当該求人に係る求職者1人当たりの就職機会を算定し、全有効求人についてこの就職機会を足し上げることにより、年齢別有効求人倍率を算出する。年齢別月間有効求職者数は、年齢別有効求人倍率に年齢別月間有効求職者数を乗じて算出する。なお、新規求人倍率及び新規求人数も同様の方法により算出する。（この際、月間有効求職者数の代わりに、新規求職申込件数を用いる。）

平成18年7月分より公表。

「求人数均等配分方式」

求人の対象年齢の種類（対象年齢がどの年齢階級〔5歳刻みの11階級〕にまたがるかにより66通りに分類）ごとに、求人数を対象年齢に相当する各年齢階級に均等に配分して、年齢別の月間有効求人数を算出し、これを年齢別の月間有効求職者数で除して、年齢別有効求人倍率を算出する。新規求人倍率及び新規求人数についても同様の方法により算出する。